

# 平成30年度

# 「言語聴覚の日」イベント報告



## 徳島県

徳島県言語聴覚士会では、今年はより多くの地域の方々にSTの名称や業務内容を知ってもらおうと、徳島県内を走るバスに広告を1カ月間掲載し運行するプロジェクトと言語聴覚の日啓発イベントとしてSTの職務内容などについて一般市民を対象にした講演会の開催をプロジェクトとして実施しました。

バスの広告掲載についてはバス会社も快く協力して下さり、県北、県南、県西、徳島市を中心と走るバス合計15台に言語聴覚の日イベントとして開催する講演会のチラシを掲載し運行すると共に、バス壁面に徳島県言語聴覚士会のロゴデザインを塗装し運行してもらいました。

バスを利用するの啓発に至った理由としては、徳島県のバス利用者数はおよそ年間15000人が利用しており、47.5%の利用率があります。(H22年 徳島市調査)バスを利用している対象者は運転免許があり自由に使える車がある人以外の層が利用しており主に19歳以下と65歳上の方が多く、通学や通院・買い物を目的に利用されています。

19歳以下の方では高校・大学生などの学生も多く、将来の仕事を考える際に言語聴覚士を知ってもらうことでSTの道へ進む方も増えることを期待した理由や、65歳以上で健康予防や家族や周囲の方でSTと関わりがある可能性の多い世代に知ってもらうことで、よりSTの職務についての知名度が向上することを期待したところがあります。

また、講演会開催についてはバスでの広報以外にも県内の高校(進路課)にチラシを配布し、教室や廊下などの生徒の目に触れる場所へ掲載を依頼しました。

徳島県は言語聴覚士の養成校が無く、STになるのであれば県外へと進学しなければいけない状況があります。そのため理学療法士や作業療法士と比較するとSTの職務内容や魅力を感じる場が少なく、どうしても進路選択を避けがちだという意見も学校の先生からお聞きしました。そのため高校生のうちからSTの資格や職務内容について聞ける講演会を開催してもらえることは進路を考えている学生にもありがたい場であると感じました。

今回の啓発イベントを通じて、継続して啓発活動を続けていく重要性を感じ、また来年もより多くの方にSTの資格や職務内容について知って頂けるように企画したいと思います。

徳島県言語聴覚士会 広報部 篠原 里奈

